

## 第58回全国国保地域医療学会 最優秀研究受賞

第58回全国国保地域医療学会（会期：平成30年10月5日～6日）の2日間にわたり、徳島県徳島市で開催された学会において、国保医療関係者等より計256題の口演発表やポスター討論などが行われ、国診協内設置の委員会において、岐阜県老人保健施設たかはら 理学療法士の牛丸航希さんが最優秀研究に選ばれました。

### 演題名 「重度嚥下機能障害を有する高齢者診療における完全側臥位法の有用性」

**目的** 重度嚥下機能障害を有する高齢者診療における完全側臥位法の有用性について検討した。

**方法** 従来の誤嚥予防対策では安全な経口摂取は困難な重度嚥下機能障害と診断された65歳以上の高齢者47例に完全側臥位法を導入した。完全側臥位法導入が安全な経口摂取と転帰に及ぼす影響について、対照群と比較検討した。

**結果** 完全側臥位群は、対照群と比較し、経口栄養での退院が有意に増加（26.5→53.2%）した。退院症例25例中13例は再び座位姿勢でも安全に食事摂取が可能となった。完全側臥位群では老衰による終末期の症例でも安全な経口摂取が可能となり、対照群と比較し死亡までの平均欠食期間が有意に短縮（17.3→7.3日）した。

**結論** 完全側臥位法は重度嚥下機能障害をもつ高齢者の安全な経口摂取に高い効果を認めた。本手技が嚥下機能障害を有する高齢者診療におけるブレイクスルーとなり得る可能性が示唆された。

最優秀研究に選出された審査評として、「重度嚥下機能障害を有する高齢者診療における完全側臥位法の有用性に関する研究発表である。簡便で負担の少ない体位であり、経口摂取に高い効果を示した。また、この完全側臥位法の出張レクチャーを周辺施設に行い、地域全体の誤嚥性肺炎の予防に取り組んでいる点は高く評価される。高齢者が多い国保直診にとっても非常に有益であり、汎用性について高く効果が期待される研究である」と高い評価を受けられました。

また、第59回全国国保地域医療学会（会期：令和元年10月4日～5日 長崎県長崎市開催）の開会式後の表彰式にて、表彰状と記念品を受領されました。



岐阜県老人保健施設たかはら 理学療法士の牛丸航希さん